

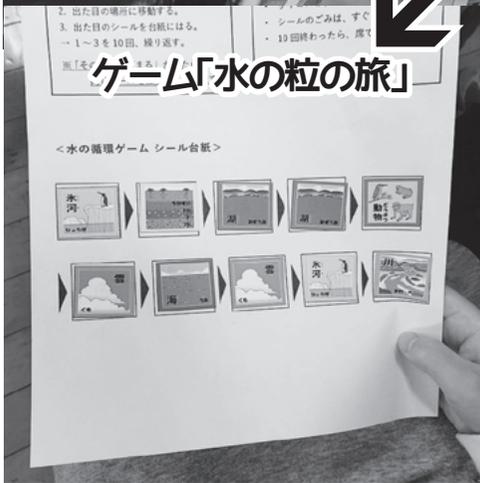
センスオブアース 市民による自然共生 パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動
環境大臣表彰受賞団体

「水となかよし」 高島第六小学校◎4年生 94名



1月30日



☺水が動く力が電池の代わりなのか。☺力が弱い水道水でも電気がおこるんだ。☺水は植物にも動物にも土にも含まれているのをはじめて知った。☺水はいろんなものに変身できることがすごい。☺おもしろかった。またやりたい。

子どもたちは、ゲーム「水の粒の旅」で水の姿が次々と変わっていく様子を体験して、海の水が圧倒的なことや、飲める水が、1%以下のことなどたくさんの学びに驚いていました。水力発電器は、ひとり一つずつのモーターとし



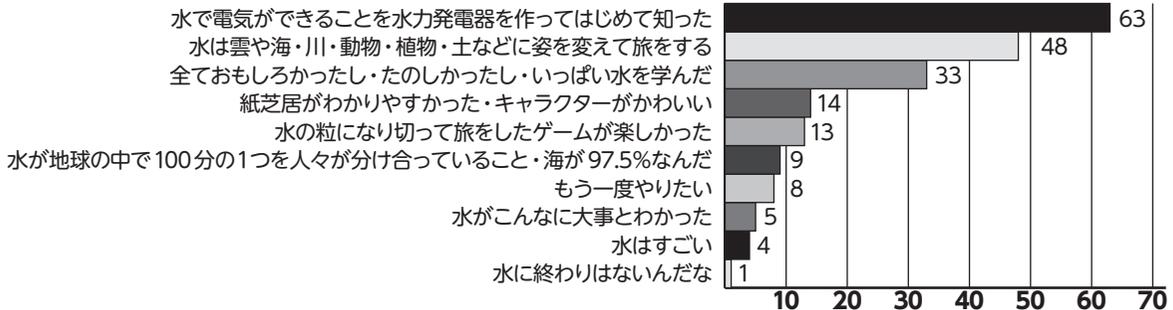
ED電気を全員に用意、子どもたちが持参したペットボトルを切った羽を取り付け、水道で回したところ、左右赤青に光り、全員水力発電に成功し、驚きの声が上がりました。(右写真)



今後調べたいこと

- ☺地下水がどうやって地上に出るの？
- ☺雷の事も知りたい。
- ☺ほかに水が隠れているところは？
- ☺水はなぜ変身できる？
- ☺水の不思議を知りたい。
- ☺水が動く力でどうやって電気を起こすのか？
- ☺水はどこから来るのか？
- ☺水力の強い滝に水力発電を置かないのか？

はじめて知ったこと・驚いたこと・思ったこと◎高島第六小学校4年生 82名(アンケート回答者数)



種とワタを分ける昔からある綿繰り機3台で
～全員が体験

綿から糸をつむごう

北前野小学校◎3年生45人◎2月28日

- ☑「木綿の洋服が、植物からできているなんて知らなかった(全員)。」
- ☑「糸を細くしたり太くしたりして楽しかった。」
- ☑「くるくるすることや引っ張るところがおもしろかった。」
- ☑「まいていって細くなくても切れなかった。」

北前野小では、春に学年で、綿を植え、少量でしたが、収穫もあったそうで、今回の綿から糸への取り組みを楽しみにしていました。区内で収穫した綿も含め、全員が、



タネから綿を分離、薄く広げて、軽くまいた物(地方により、篠などの名前で呼ばれる)を優しく持って、2人組で糸を引き出しました。むずかしそうで楽しい活動です。(上写真)

- ☑「糸は身近にあってこんなはたらきをしていますすごい。」
- ☑「種は油になる。綿はおさつ・花火・洋服にも使われている！」
- ☑「いとを作るのにこんなに大変ということがわかった。」
- ☑「綿は育てるほかに、糸やぬのづくりにも使えることを知った。」



綿とポリエステルをくらべると

～綿は100%外国から買っている日本～
これからやっていきたいこと

- ◎せっかく種をもらったので育てたい。
- ◎学校や家のベランダでワタを育ててみたい。
- ◎家で育ててみたい。(多数)
- ◎日本で作れるようにしたい。
- ◎家で育てて糸を作りたい。
- ◎1回育てたことがあったのでやってみたい。
- ◎あちこちにわたを育てる所を作って増やしたい。
- ◎どこでも売れるようにしたい。(日本で)



引き出した糸をつないでいくと2m!!

滝野川第二小産みそを作ろう

滝野川第二小学校◎4組12人◎2月19日

大豆からみそ・とうふ作りに取り組んで3回目の滝野川第二4組。4年以上の在校生は、2回目のみそ作り。みんな、**材料は、煮た大豆・塩・玄米こうじの3つ**とても落ち着いて話を聞き、



1年生から全員で、支援の保護者とともに2回目のみそ作りを楽しみました。卒業生の保護者も応援に駆けつけてくれました。すごいつなが



りです。みそ汁は学校産大根を入れ、とても甘くできました。

わかったこと・楽しかったこと

☑「みそは大豆からできている。」☑「大豆はいろいろな食べ物になること。」☑「みそ汁はおいしい。」☑「みその作り方。」☑「大豆を足でつぶしてみそになった。」☑「大豆をつぶしてみそにすること。」☑「みそにするのに、こうじと塩が必要なことがわかりました。」☑「大豆は豆からできている。」☑「足でつぶしてみそにつぶすのが楽しかった。」(多数)



考えたこと・やりたいこと

☑「大豆はいい食材だ。」☑「学校で育てられたら、水やりをがんばる。」☑「みそはきゅうりとあう。」☑「みそ汁を食べる。」☑「みそ汁をいっぱい飲みたい。」☑「学習をしている。大豆は豆からできている。」☑「納豆やとうふやみそを残さず食べます。」

～これから春夏を熟成させ秋には完成です～



平成30年度子ども環境大使—ユネスコスクールの活動の掲示

3月8日まで / 於◎エコポリスセンター 2階・3階



板橋第二小学校

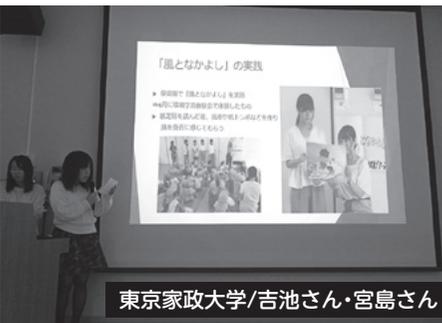


板橋第七小学校



平成30年度 まちの環境発表会 3月2日(土) / エコポリスセンター

東京家政大宮地ゼミとSOEの協働による環境教育を家政大生が発表



東京家政大学/吉池さん・宮島さん

今年度の活動や研究報告があり、後半の話し合いも含め充実したものでした。SOEと協働で進めている東京家政大学宮地ゼミ生(吉池さん・宮島さん)が「大学とNPOとの協働による環境教育」を発表。他に、ペット・アニマル専門学校生「動物飼育出店成果と課題」などを4グループで、板橋水と緑の会・坂本氏「赤塚城址に学ぶ生物多様性」、環境観察活動指導員・木村氏「板橋区の野草一斉調査」、JICA・佐藤氏「SDGsの17目標」など、日常的に、丹念に活動された重みのある成果の報告が続きました。



ペット・アニマル専門学校生



板橋水と緑の会/坂本氏



環境観察活動指導員/木村氏

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052